

生ごみ水切りモニターを募集

(株)カインズと生ごみ水切り器を共同開発中

家庭でもっと手軽に水切りに取り組んでもらうために、家庭用品の開発、製造、販売に数多くの実績を有する市内企業の(株)カインズと協定を締結し、官民協働で新しい生ごみ水切り器を開発しています。今後、市民モニターからの意見などを踏まえ、9月頃に低価格で使いやすい水切り器の第1弾の販売を目指していきます。

▶協定締結式にて(株)カインズ代表取締役社長 土屋裕雅氏(左)と記念撮影。



Interview

生ごみの水切りをもっと手軽に手頃に

昨年から開発を始め、社内アンケートなどの結果から三角コーナーを置いていない家庭でも使えるように、ネットにためた生ごみの水分を搾り取る水切り器を作成しています。



▲円錐型に丸めて使用。販売価格は98~198円を想定。(意匠登録出願中)

PET樹脂でできた試作品は、持つ方の面はザラザラと滑りにくく、生ごみと接する面はツルツルと汚れが付きにくくなっています。また、女性の手でもしっかりフィットするよう少し小さめに。水切りが少しでも楽しくなるように丸みを帯びたやわらかいデザインになっています。

今後、市民のみなさんのご意見をいただきながら、より多くの人に使ってもらえるよう、簡単で手頃な水切り器を作成していければと思います。

(株)カインズ 開発担当
石原 聖二さん



あなたの声でもっと良いものに

現在(株)カインズと共同開発中の生ごみ水切り器を、あなたの声でもっと良いものにしませんか。水切り器の試作品を利用した水切り効果や感想などのアンケート調査にご協力いただけるモニターを募集します。

- 募集人数** 100人 (先着順)
- 募集期間** 6月8日(水)~6月29日(水)
- 応募資格** 市内在住者 ※1世帯1人まで。
- 内容** ①提供した水切り器で2週間程度生ごみの水切りをする
②7月15日(金)までにアンケートを市へ提出する
※水切り器は返却不要です。
- 報酬** 無報酬
- 応募方法** 氏名(ふりがな)・住所・電話番号を記入のうえ、ファックス・電子メールを送信又は電話・直接応募先へ
- 応募先** 環境推進課(市役所4階)
☎②1172・📠②1248・✉kankyo@city.honjo.lg.jp

あなたの言葉が誰かの気づきに (標語募集)

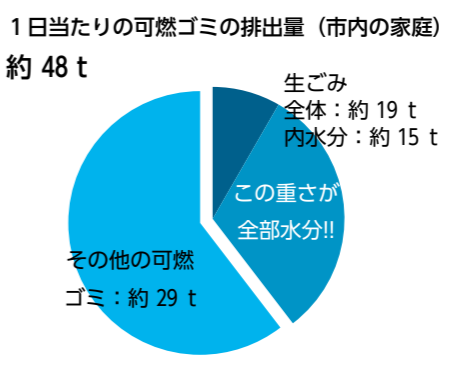
生ごみ水切り運動の普及啓発活動の一環として、生ごみの減量や水切りを呼びかける標語の募集を行います。

- 応募資格** 小学生以上の市内在住・在勤・在学者
- 応募点数** 1人何作品でも(自作の未発表の作品に限る)
- 応募方法** 応募用紙に必要事項を記入のうえ、郵送・ファックス・電子メール・持参のいずれかで応募先へ
※応募用紙は環境推進課(市役所4階)及び環境産業課(アスパピアこだま内)で配布又は市ホームページからもダウンロードできます。
- 応募先** 〒367-8501 本庄市本庄3-5-3 本庄市役所環境推進課
※電話番号などは上の記事の応募先と同じです。
- 応募締切** 7月11日(月) (当日消印有効)
- 応募部門** 小・中学生の部 一般の部 (高校生以上)
- 表彰** 最優秀賞1作品、各部門それぞれ優秀賞3作品
※入選作品は、授賞式で記念品を贈呈します。また、最優秀作品は各種広報啓発活動に使用します。



生ごみの80%が水分?

1日当たりの可燃ゴミの排出量(市内の家庭) 約48t
本庄市では、1日平均で約48tの可燃ごみが家庭から出されています。その可燃ごみのうち約40%を生ごみが占め、その生ごみの重量のうち約80%が水分といわれています。そのまま排出すると多くの水をごみとして処理することになります。



収集車両の排気ガスやごみの焼却エネルギーが増加し、地球温暖化の原因に!

水切りしないとどうなるの?

- ①収集車両の燃費低下: 水分を多く含む生ごみは重くなり、ごみを運搬する際に収集車両の燃費を低下させます。
- ②焼却率低下: 水分量が多いため、ごみを燃やす際に焼却効率が下がります。
- ③不快な悪臭: 夏場などは特に不快な臭いが発生し、収集所でカラスや猫などの動物にごみが荒らされる原因にもなります。

水切りをするだけで...

10%

水切りを行うだけで、生ごみの約10%の重量を減らすことができます。重量が減ることにより、収集車両の燃費とごみ焼却の効率が上がり、地球温暖化の要因でもあるCO2(二酸化炭素)の削減につながります。また、悪臭・腐敗の防止にも効果があります。

市内の全家庭で1日当たり 約 **2** t の重量削減
水切りを行うと...

生ごみを軽くするためのポイント

- 濡らさない** 野菜の皮や食材の使わないところは、洗う前に切り落とし直接ごみ袋へ捨てる。
- 乾燥** 水のかからない場所に置いたり、新聞紙等に広げたりして、一定時間放置してから捨てる。
- 絞る** 排水口や三角コーナーには水切りネット等を使い、ごみ袋に入れる前にひとしぼりする。

生ごみを出さない工夫も大切です。「食材を買い過ぎない。最後まで使い切る。食べ残しをしない。」など日々の買い物や料理の際にこれらを意識することは、家計の節約にもなります。

みんなの地球

たったそれだけのことで
それが大きな力に変わる

生ごみの水切り推進

★環境推進課
☎②1172

